

## 船舶保険仕様書

(練習船兼災害支援船・実習船)

独立行政法人国立高等専門学校機構

## 1. 総則

本仕様書は、独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という。）が所有する船舶について付保する船舶保険の内容を定める。

## 2. 保険契約者及び被保険者

- (1) 保険契約者： 独立行政法人国立高等専門学校機構
- (2) 被保険者： 独立行政法人国立高等専門学校機構

## 3. 保険期間

令和7年4月1日午前0時から令和8年3月31日午後12時まで1年間

## 4. 保険料支払方法

一時払（保険料払込猶予特約条項付帯）

## 5. 保険の種類

船舶保険

## 6. 適用約款

船舶保険普通保険約款

## 7. 付帯する特約条項

- ① 船舶保険6種特別約款 [練習船兼災害支援船に適用]
- ② 船舶保険5種特別約款 ただし第2条（休航戻し）削除 [実習船に適用]
- ③ 保険料の支払に関する特別条項、または、保険料の支払および返還に関する特別条項 [両方でも可]
- ④ 先取特権等に関する特別条項
- ⑤ 制裁等に関する特別条項
- ⑥ 船費保険契約禁止特別条項
- ⑦ 電子機器類の日付認識問題に関わる損害不担保特別条項、またはコンピュータ機器またはソフトウェアの日付認識エラー不担保特別条項
- ⑧ 解撤回航時の全損金支払制限特別条項
- ⑨ 休航戻特別条項（第6種用）[練習船兼災害支援船に適用]
- ⑩ 共同保険特別条項
- ⑪ 原子力危険・生物化学兵器・電磁兵器による損害不担保特別条項
- ⑫ 船底の清掃費および塗装費不担保特別条項
- ⑬ 免責金額控除特別条項（第6種特別約款第3条どおり）  
免責金額は第6種修繕費のみ1事故あたり練習船兼災害支援船100万円
- ⑭ 保険料払込猶予特約（独立行政法人用）
- ⑮ 超過衝突損害賠償金てん補特別条項（A-2）
- ⑯ 同時被曳航制限特別条項 [実習船に適用]
- ⑰ サイバーリスクの取扱いに関する特別条項（A）
- ⑱ 感染症免責特別条項

また、練習船兼災害支援船に関して、定係港係留中に陸上からの安全管理が行われることにより常置人員を置いた場合の管理と同等と見なすこととする条件を付帯する。

なお、上記特約条項以外で補償範囲を縮小変更する特約は一切付帯しないものとする。

## 8. 免責事項

船舶保険約款、各特約条項と同内容

## 9. 保険の内容

### (1) 保険対象物件

船名	船種	船質	進水年	総トン数	航路定限
若潮丸	練習船兼災害支援船	鋼	1995年	231t	日本全沿岸
鳥羽丸	練習船兼災害支援船	鋼	2024年	397t	日本全沿岸
広島丸	練習船兼災害支援船	鋼	1997年	234t	日本全沿岸
大島丸	練習船兼災害支援船	鋼	2022年	373t	日本全沿岸
弓削丸	練習船兼災害支援船	鋼	2023年	380t	日本全沿岸
あさま	実習船	FRP	2004年	14t	日本全沿岸
らいちょう	実習船	FRP	2021年	6t	日本全沿岸
ひかり	実習船	FRP	2004年	16t	日本全沿岸
すばる	実習船	FRP	2004年	14t	日本全沿岸
はまかぜ	実習船	FRP	2000年	16t	日本全沿岸

### (2) てん補の範囲・保険金額・免責金額

船名	船種	てん補の範囲	免責金額	保険金額
若潮丸	練習船兼災害支援船	6種	100万円	1,686,000,000円
鳥羽丸	練習船兼災害支援船	6種	100万円	4,866,232,000円
広島丸	練習船兼災害支援船	6種	100万円	1,684,000,000円
大島丸	練習船兼災害支援船	6種	100万円	4,510,000,000円
弓削丸	練習船兼災害支援船	6種	100万円	3,990,000,000円
あさま	実習船	5種	なし	54,000,000円
らいちょう	実習船	5種	なし	17,447,600円
ひかり	実習船	5種	なし	50,000,000円
すばる	実習船	5種	なし	48,000,000円
はまかぜ	実習船	5種	なし	50,400,000円

## 10. その他の条件

ブローカー扱いとする。

## 11. 保険料算出条件

保険料の見積にあたっては、上記条件の下に算出するものとする。

## 12. その他

本仕様書の内容について疑義が生じた場合は、機構の指示に従うものとする。

### 補足資料

- ・練習船運航スケジュール
- ・船舶保険成績表
- ・「練習船兼災害支援船」で想定される災害支援について

以上